

生産者通信

(有)エコ・ライス新編
定価 100円(送料込)

5年産山田錦 旭酒造の自主検査で高品質判定!

35,000円/俵

ついに6名の生産者が!!



4月末追加払い決定!

春作業を開始して多忙なこの時期に、嬉しい知らせが飛び込んできました。
旭酒造(瀬祭)は、山口の倉庫に入庫された全国の山田錦を全量独自検査を実施しました。
上位等級として同社が扱える山田錦が全体の7%あり、そのうち、当協議会から出荷した山田錦の生産者6名(135俵)が該当しました。

旭酒造は、この2項目を重視し、入庫された5年産山田錦の上位7%が合格となりました。
純米大吟醸酒「瀬祭」を醸すのに適した山田錦と言えます。
仮に、反収が5俵の場合、1俵あたり17、500円となり、収量が少なくとも高品質な山田錦を栽培すれば、収入としてはとても良いものになります。
山田錦は晩生のため、

**心白が中心に入っていること
被害粒や未熟粒が少ないこと**

山田錦栽培を始めて9年、初の快挙です。
1俵3万5千円で、4月中に追加支払いを致します。
今年の5年産は、1等、2等に追加払いがあり、機械と独自の目視検査による、更なる追加払いに、旭酒造へ感謝すると共に、6年産の山田錦栽培に力が入ります。

昨年から日本で初めてのリゾケアによる直播栽培の山田錦も1フレコン入りしました。
省力化栽培でも、瀬祭に評価される山田錦に育つのであれば、規模拡大と作期分散につながります。
リゾケア2年目ですが、取り組む生産者組織が、2団体から5団体に増え、今秋の結果が楽しみです。

**リゾケア直播
田植えも該当**

通常新潟県では、10月(昨年度は高温のため)に9月中旬から稲刈りをした生産者あり)に収穫なので、中生のコンヒカリとダブることはないのりで、規模拡大しても農業機械等を増やさずに機械の回転効率をあげられます。
農業の2025年問題の解決は、高温耐性の稲と晩生の組合わせで対応を検討です。



「心配するな 絶対うまいから」



MADE in NY 瀬祭BLUE限定販売

3月27日、NHK-BS「ザ・ヒューマン」で桜井会長のニューヨークでの酒蔵建設の奮闘の1年が放映されました。その中でも、妥協をせずに異文化と衝突しながら、会長が太鼓判を押しせるレベルに仕上がりました。

DASSAI BLUE type50 4,180円(税込)
DASSAI BLUE type23 11,000円(税込)

※発売開始 4月23日(火)・・・事前受付いたします。
※数に限りがありますので、なくなり次第、終了となります。

